不定期刊行　　第535号　2015.02.09

中信高校山岳部かわらばん

編集責任者　大西　浩
大町高等学校

冬山合宿IN黒沢尾根

7 日、8 日の両日、大町高校の冬山合宿を黒沢尾根で実施した。初日は学校を 9 時 30 分に出発。鹿島槍スキー場に移動。リフト代（1 回券 500 円！）を倹約して高校生はゲレンデの脇を歩いた。快晴の天気の中、重い荷物を背負った若者に周囲の注目度も 100%。そんなことは気にもせず、11:00 にはゲレンデトップまで登りつめた。実は今回の核心はこのゲレンデの急坂だったかも。ここからは、まっすぐに 1546mの小ピークまで尾根を登りあげた。いったん下って登り返した二つ目のピークにベースキャンプを設営した。

今回は私以外の顧問の予定がつかなかったので、ＯＢで全校登山にもサポートをしていただいているＯ氏に支援をしてもらった。現役時代スキー部に所属していたＯ氏は山スキー、小生と生徒 6 名はスノーシューという 8 人パーティ。この日は山岳総合センターの一般及びリーダーコースの 50 名ほども同じ山域で講習会を行っていた。我々の当初の予定は、初日はベースキャンプ周辺で「雪上運動会」と銘打って雪上マラソン、雪上リレー、ビーコン捜索、雪洞掘り競争などをしながら雪質観察などをし、2 日目に尾根上を佐野坂峰（1665m）あたりまで登る予定だった。しかし、天気図を見ると 7 日は移動性高気圧に広く覆われた晴天だが、8 日は二つ玉低気圧が発生し、急激に天候が悪化するのが予測された。そこで、出発前に急きょ予定を変更。天気のよい初日に 15 時を目途に通称ボトル台地と呼ばれる佐野坂峰の手前のピークまで行き、2 日目は様子を見ながらできることをしようという計画に変更した。もし万が一天候が急変したとしても、ベースキャンプの位置からであれば、スキー場まではすぐに下れる。

予想通りの快晴で、ベースキャンプの位置からは鹿島槍の峻峰が正面に大きい。我々のキャンプの近くでセンターの講習会の 1 班が雪質観察をしていたので、便乗して生徒にも雪の勉強をさせる。今年の雪は内部の温度勾配も少なく、弱層テストをしてもあまり顕著な弱層は見られず安定していると、雪のことをひとくさり。

幕営後、13:45 ベースキャンプを出発。黒沢尾根と呼ばれるこの尾根は小遠見山から派生している尾根で、冬季は後立山の絶好の展望ロードである。先行者のトレースは踏まずに自分たちのトレースをつけろ！とラッセルをさせながらの行軍。途中、1599m峰を越え、14:35 にはボトル台地に到着した。この台地は幕営するには適地なので、先行していたセンターのリーダーコース隊が幕営をしているところだった。その人々に向けてというわけでもないが、今回の最遠到達地ということで、山岳部歌を歌う。リーダーの岡本の「さーんがくぶかーー」のエールにリーダーコースの面々の注意がこちらに向いた。注目の中、「私ゃ名高ーい信濃のぉ国ぃの、にーほーんアルプスのさぁ、下に住むぅー・・・」と山岳部歌が響き渡る。センターの講師の面々からは「青春だね！」と感心され、しっかり、マーキングをして予定通り 15 時に下山を開始。15:45 にはベースキャンプに帰着した。

その後は、17:00 までと時間を切ってトイレづくりと雪洞作りをさせた。2 月のこの時期になると、日差しも少し柔らかくなり、日も長くなってきて、5 時を過ぎてもまだ充

分明るい。雪掘りを始めた生徒たちは嬉々として、雪の中から出てこない。17:10、自分たちの作った雪洞にご満悦の生徒たちに「そろそろ飯を作れ」と発破をかける。夕食は「ちゃんこ鍋」に「ご飯」〆には「うどん」というメニュー。今回は1月になって冬山をやってみたいと入部してきた新人S君の歓迎山行も兼ね、テント泊は久しぶりだねという生徒たちだが、雪の中でのテント生活もう安心して見ていられる。

作れば使いたくなるのが人情というもの、好奇心も相俟って部長の0、1年生の副部長Y、それに新人のSの3人が雪洞に泊まってみたいと志願。どうぞ、ご自由に、まあ耐えられなくなったらテントにおいでと送り出す。結局彼らは朝まで快適な雪洞生活を満喫？したのかは知らないが、朝になってテントに帰ってきた。3 月には雪洞での合宿を計画しているが、その前哨戦ともなった。

翌日は予想通り、朝から曇天。6:00 に起床し、8:00 からビーコンを使った雪崩捜索訓練を行った。6 人の生徒を 3 人ずつ 2 班に分け、それぞれ 2 回ずつ捜索側と観察側になり、埋没ビーコンの捜索と掘り出しを体験させた。雪の斜面を登ったり下りたり、雪と戯れながら、2 時間ほど雪の中で身体を動かした。朝は見えていた後立山の峰々が 9:00 ごろからは全く見えなくなり、その後は雪がもさもさと降り始めた。上部に幕営していたセンターの講習会隊も班ごとに下山してきた。10:00 我々もそろそろ潮時と、撤収下山をすることにした。12:00 には学校へ帰着。こんな素晴らしいロケーションに学校があることの素晴らしさを実感。今回もビーコン、プローブ、ショベルはセンターのものを借用した。この場を借りてお礼申し上げたい。以下、今回は少し写真で報告したい。